

公共事業再評価の評価書について

公共事業再評価とは、行政活動の評価に関する条例により、社会経済情勢の急激な変化等、特に今後の展開について、判断が必要とされるものについて実施するとされているものであり、行政評価委員会への諮問・審議、県民意見聴取及び行政評価委員会からの答申を経て、評価書の要旨(案)及び評価書(案)を作成したものである。

○評価書の概要

・事業名

川内沢ダム建設事業

・事業目的

名取市内と岩沼市内を流下する一級河川名取川水系川内沢川に、同河川の治水事業の一環として治水ダムを建設し、沿川の洪水を防御するとともに、既得取水の安定化と河川環境の保全を図るもの。

・事業内容

川内沢ダム	前回評価時 (H28年度)	今回評価時 (R3年度)	増減等
ダム型式	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	変更無し
ダム高	36.7 m	39.7 m	+3.0m
堤体積	40,900m ³	54,000m ³	+13,100m ³
総貯水容量	1,790 千m ³	1,790 千m ³	変更無し

・事業期間

平成9年度～令和7年度(変更無し)

・進捗率

35.0%(令和2年度末時点)

・事業費

(前回)約95億円⇒(今回)約135億円(+約40億円)

・費用対効果

費用便益比(B/C):(前回)1.43⇒(今回)1.42

○行政評価委員会(公共事業評価部会)の実施状況

日時	内容
R3.5.24	行政評価委員会への諮問、評価書公表、 パブリックコメントの実施、 第1回公共事業評価部会
R3.7.6	第2回公共事業評価部会
R3.7.30	答申

○パブリックコメントの概要

意見募集期間：5月24日(月)～6月22日(水)
周知方法：新聞、ラジオ、ホームページ等
提出意見数：1件(1者)

○答申の内容

答申：継続妥当

今後の事業実施に関する意見

事業全般
・今後、ダム本体工事や附帯工事を進めるに当たっては、コスト縮減に努めること。また、本事業を含めた川内沢川流域全体における事業効果の早期発現に向けて、各関係機関と協議を十分に行うこと。

○答申に対する対応方針

今後、工事や管理全般にわたり、コスト縮減に努めるとともに、川内沢川流域全体における事業効果の早期発現に向けて、円滑な事業進捗を図るべく、関係機関との協議を進める。